

令和 7 年度 事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

1 基本方針

今日、我が国は経済的な発展により物質的には豊かになったものの、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように、人を分断する事件や不当な差別や偏見、誹謗中傷事象が発生している。しかし、一人ひとりの存在そのものは、等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「人づくり・意識づくり」を推し進めるため、「糸賀一雄記念賞」および県から受託の「共生社会づくりリーダー等養成事業」や国から受託の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」などを実施し、障害者をはじめとする生きづらさがある人やその家族が生涯にわたり安心して生活できる共生社会の実現を目指す。

また、「公益財団法人糸賀一雄記念財団第二次中期経営計画」の着実な推進に努めるとともに、組織をあげて賛助会員を増やす活動を強化推進するなどして、当財団の自主的・主体的な運営の確立および持続的な経営の安定を目指す。

2 事業計画

(1) 啓発事業

- ア 福祉分野以外（企業、教育、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整
- イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

(2) 表彰事業

- ア 令和7年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集ならびに選考委員会の開催
- イ 令和7年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

(3) 共生社会づくりリーダー等養成事業

- ア 地域社会のあらゆる分野で共生社会づくりを推進するリーダーの養成に向けた研修等の開催
- イ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

(4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

障害福祉従事者、事業経営者等が改めて共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくことを目的とした共生社会フォーラム研修事業を当財団が受託し実施する。併せて、本事業の実施を通じて、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「語り部」を確保・育成する。

(5) 関連事業

糸賀一雄記念賞第二十四回音楽祭の実行委員会への参加

(6) 広報事業

財団広報誌の発行やホームページ等の運営

(7) 財政基盤の強化

賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経 常 増 減 の 部				
(1) 経 常 収 益				
基 本 財 産 運 用 益	1,000	1,000	—	
受 取 会 費	568,000	292,000	276,000	
事 業 収 益	7,405,000	8,535,000	△ 1,130,000	
受 取 補 助 金 等	8,759,000	8,759,000	—	
受 取 寄 付 金	3,000,000	3,000,000	—	
経 常 収 益 計	19,733,000	20,587,000	△ 854,000	
(2) 経 常 費 用				
事 業 費	14,826,000	15,829,000	△ 1,003,000	
管 理 費	4,907,000	4,758,000	149,000	
経 常 費 用 計	19,733,000	20,587,000	△ 854,000	
(うち人件費)	8,514,000	8,395,000	119,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	
評 価 損 益 等 計	—	—	—	
当 期 経 常 増 減 額	—	—	—	
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	
一般正味財産期首残高	33,665	88,773	△ 55,108	
一般正味財産期末残高	33,665	88,773	△ 55,108	
II 指定正味財産増減の部				
受 取 会 費	1,168,000	1,160,000	8,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,568,000	△ 3,292,000	△ 276,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 2,400,000	△ 2,132,000	△ 268,000	
指定正味財産期首残高	48,589,110	49,484,110	△ 895,000	
指定正味財産期末残高	46,189,110	47,352,110	△ 1,163,000	
III 正味財産期末残高	46,222,775	47,440,883	△ 1,218,108	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	1,000	—	—	—	1,000
受取会費	398,000	—	170,000	—	568,000
事業収益	7,405,000	—	—	—	7,405,000
受取補助金等	4,922,000	—	3,837,000	—	8,759,000
受取寄付金	2,100,000	—	900,000	—	3,000,000
経常収益計	14,826,000	—	4,907,000	—	19,733,000
(2) 経 常 費 用					
事業費	14,826,000	—	—	—	14,826,000
管理費	—	—	4,907,000	—	4,907,000
経常費用計	14,826,000	—	4,907,000	—	19,733,000
(うち人件費)	5,927,000	—	2,587,000	—	8,514,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	—	—
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	—	—
一般正味財産期首残高	△ 366,335	—	400,000	—	33,665
一般正味財産期末残高	△ 366,335	—	400,000	—	33,665
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	818,000	—	350,000	—	1,168,000
一般正味財産への振替額	△ 2,498,000	—	△ 1,070,000	—	△ 3,568,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,680,000	—	△ 720,000	—	△ 2,400,000
指定正味財産期首残高	34,012,377	—	14,576,733	—	48,589,110
指定正味財産期末残高	32,332,377	—	13,856,733	—	46,189,110
III 正味財産期末残高	31,966,042	—	14,256,733	—	46,222,775

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和6年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者など生きづらさがある人やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与し、地域社会のあらゆる分野で共生社会づくりの機運を高めるため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及啓発や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰事業、共生社会づくりリーダー等養成事業、共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業などを実施した。

1 事業実績

(1) 啓発事業

ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀氏の思想の普及啓発に努めた。

(2) 表彰事業

ア 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

令和6年5月27日から令和6年7月31日までを募集期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

イ 選考委員会の開催

令和6年9月6日(金)東京都手をつなぐ育成会会議室にて選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

(ア) 記念賞 パンジーメディア(大阪府東大阪市:総括 林淑美)

(イ) 記念未来賞 堀口旬一朗氏(埼玉県秩父市:社会福祉法人清心会 アンバサダー)

特定非営利活動法人 くにたち夢ファーム(東京都国立市:代表理事 山本米子)

ウ 授賞式の開催

(ア) 日時 令和6年11月16日(土)

(イ) 場所 ホテルニューオウミ あづちの間

(ウ) 内容 表彰式、受賞者記念スピーチ

(3) 共生社会づくりリーダー等養成事業

滋賀県との共生社会づくりリーダー等養成事業委託契約に基づき、あらゆる人が持つ尊厳の大切さを語る糸賀思想を原点とする福祉の心を広めるリーダー等の養成や、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行うなど、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

(4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと共生社会に関する基本理念を多くの国民に浸透させるため、厚生労働省から受託し、一般の方を対象としたプログラムと福祉の現場や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み合わせた共生社会フォーラムを3会場(山梨・大阪・宮崎)で開催するとともに、滋賀県大津市ではこれまでの事業実施についての評価と今後の展望を考えるフォーラムを開催した。

正味財産増減計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,177	898	4,279
特定資産運用益	—	—	—
受取会費	301,000	281,000	20,000
事業収益	7,278,435	7,786,057	△ 507,622
受取補助金等	8,759,000	8,759,000	—
受取寄付金	2,200,000	2,300,000	△ 100,000
雑収益	1,440	29	1,411
経常収益計	18,545,052	19,126,984	△ 581,932
(2) 経常費用			
事業費	13,945,208	14,473,542	△ 528,334
管理費	4,588,480	4,708,550	△ 120,070
経常費用計	18,533,688	19,182,092	△ 648,404
(うち人件費)	8,382,545	8,351,526	31,019
評価損益等調整前当期経常増減額	11,364	△ 55,108	66,472
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	11,364	△ 55,108	66,472
当期一般正味財産増減額	11,364	△ 55,108	66,472
一般正味財産期首残高	33,665	88,773	△ 55,108
一般正味財産期末残高	45,029	33,665	11,364
II 指定正味財産増減の部			
受取会費	1,001,000	981,000	20,000
受取寄付金	500,000	500,000	—
一般正味財産への振替額	△ 2,501,000	△ 2,581,000	80,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,000,000	△ 1,100,000	100,000
指定正味財産期首残高	49,609,110	50,709,110	△ 1,100,000
指定正味財産期末残高	48,609,110	49,609,110	△ 1,000,000
III 正味財産期末残高	48,654,139	49,642,775	△ 988,636

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経 常 増 減 の 部					
(1) 経 常 収 益					
基本財産運用益	3,624	—	1,553	—	5,177
特定資産運用益	—	—	—	—	—
受取会費	210,700	—	90,300	—	301,000
事業収益	7,278,435	—	—	—	7,278,435
受取補助金等	4,723,813	—	4,035,187	—	8,759,000
受取寄付金	1,540,000	—	660,000	—	2,200,000
雑収益	—	—	1,440	—	1,440
経常収益計	13,756,572	—	4,788,480	—	18,545,052
(2) 経 常 費 用					
事業費	13,945,208	—	—	—	13,945,208
管理費	—	—	4,588,480	—	4,588,480
経常費用計	13,945,208	—	4,588,480	—	18,533,688
(うち人件費)	5,837,615	—	2,544,930	—	8,382,545
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 188,636	—	200,000	—	11,364
評 価 損 益 等 計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 188,636	—	200,000	—	11,364
当期一般正味財産増減額	△ 188,636	—	200,000	—	11,364
一般正味財産期首残高	△ 366,335	—	400,000	—	33,665
一般正味財産期末残高	△ 554,971	—	600,000	—	45,029
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	700,700	—	300,300	—	1,001,000
受取寄付金	350,000	—	150,000	—	500,000
一般正味財産への振替額	△1,750,700	—	△ 750,300	—	△2,501,000
当期指定正味財産増減額	△ 700,000	—	△ 300,000	—	△1,000,000
指定正味財産期首残高	34,726,377	—	14,882,733	—	49,609,110
指定正味財産期末残高	34,026,377	—	14,582,733	—	48,609,110
III 正味財産期末残高	33,471,406	—	15,182,733	—	48,654,139

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	1,713,206	2,471,949	△ 758,743
未 収 金	6,842,690	7,015,772	△ 173,082
流 動 資 産 合 計	8,555,896	9,487,721	△ 931,825
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	48,573,110	49,573,110	△ 1,000,000
基 本 財 産 合 計	48,573,110	49,573,110	△ 1,000,000
(2) その他固定資産			
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
その他固定資産合計	36,000	36,000	—
固 定 資 産 合 計	48,609,110	49,609,110	△ 1,000,000
資 産 合 計	57,165,006	59,096,831	△ 1,931,825
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	6,800,000	7,500,000	△ 700,000
未 払 金	1,687,884	1,825,324	△ 137,440
預 り 金	22,983	128,732	△ 105,749
流 動 負 債 合 計	8,510,867	9,454,056	△ 943,189
負 債 合 計	8,510,867	9,454,056	△ 943,189
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
賛 助 会 費	4,310,000	3,610,000	700,000
寄 付 金	44,263,110	45,963,110	△ 1,700,000
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	48,609,110	49,609,110	△ 1,000,000
(うち基本財産への充当額)	(48,573,110)	(49,573,110)	(△ 1,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
2 一 般 正 味 財 産	45,029	33,665	11,364
正 味 財 産 合 計	48,654,139	49,642,775	△ 988,636
負債及び正味財産合計	57,165,006	59,096,831	△ 1,931,825